



とよ だ みつ はる
豊田光治

にほんきょうさんとうつしぎだん
日本共産党津市議団

高野尾出張所前に横断歩道と信号機の設置を

問 県道津関線をはさんで北側には人家が多く、反対の南側に高野尾出張所、高野尾小学校、郵便局、交番などが並んでおり、道路の横断は大変危険な状態である。歩道橋はあるものの、高齢者や障がい者の方は大変であり、車いすなどは歩道橋を使えない。歩道橋を使えない人も安心して横断できるよう横断歩道と信号機の設置を市として県に強く求めよ。

答 高野尾出張所前の横断歩道と信号機の設置については、所管する津警察署に対し要望を行っているが、この場所には歩道橋が設置されており、交通事故防止のため、歩道橋の前後約100メートルにわたり横断禁止の公安委員会規制がなされている。歩道橋と同一場所へ横断歩道を設置することは歩道橋の効用を失うとともに、交通事故発生の危険が増すとの考えから、横断歩道の設置は実現されていない。

市としても、地域からの要望もあり、高齢者など歩道橋の利用が困難な場合があることから、交通規制実施基準や法令の改正の際には、地域社会の実情に合った形で基準が運用されるよう、引き続き要望していく。

●その他の質疑・質問●

- 「秘密保護法」は国民の知る権利を奪う悪法だと思うが、市長の見解を問う
- 消費者物価が下がったとして削減された生活保護費を元に戻すよう国に求めよ
- 民間の建物の取り壊しに伴う「アスベスト」飛散に関する付近住民の不安に市は対応を
- 白塚・河芸地区の海岸堤防整備を早急に など



▲交通量の多い県道津関線を横断する高齢者



はっ た まさ とし
八太正年

むかい は
無会派

サオリーナの入札不調の原因は

問 我々の誇れる吉田沙保里さんの名前をとって命名していただいたサオリーナ、津市産業・スポーツセンターの建設は100億円以上の事業である。

その入札が2回も不調となっているが、その原因は何か。

また入札の不調により、9月議会で工事契約に係る議決がされなかったことから、余分に必要となる税金については、どう対応するのか。

答 2回の入札不調の要因としては、全国的な建設事業の増加による建設資材の取引価格や労務費の高騰、建設事業の急増による受注余力の低下、長期の工事期間における資材価格の変動や労働力の確保に対する懸念があげられる。

また、工事の請負契約に係る消費税については、平成25年9月30日までに契約を締結した場合は、引き渡しは平成26年4月以降になった場合であっても現行の5%が適用されるが、入札の不調により8%が適用されることになることから、3%の差額分約2億4,000万円については、法令に従い支出しなければならない。

●その他の質疑・質問●

- ポルタひさいを公共施設（専有部分6,124.23㎡）として購入した後の整備状況及び財源について
- 休館した久居市民会館に代わる文化施設整備（新設）の進捗状況及び財源について
- 近鉄久居駅周辺の鉄道高架化及び財源について



▲強い期待が寄せられる津市産業・スポーツセンターの整備